

平成30年川南町学校規模適正化審議会第3回審議会会議録

平成31年 2月20日
午後 6時00分 開会
川南町生涯学習センター

審議会出席者

委員長：染川比呂志 副委員長：平塚金治

委員：坂本幹夫 川井田 修 堤 康敏 金丸和史 高橋陽子 松浦峻男 黒木和敏
長野碩夫 富高保弘 神谷則子

欠席者：永友和美 永友繁美 宮崎吉敏

事務局出席者

教育長：木村 誠 教育課長：大塚祥一 教育対策監：肝付正籍 課長補佐：渡部好文
学校教育係長：林 義光

<午後6時00分開会>

○会 長

《 挨拶 》

○協 議 議 長 染川会長

(1) 答申について

議 長

前回の協議を基に答申書(案)を作成しております。黙読をお願いします。

何かあれば、御意見ををお願いします。

委員意見

審議の状況が、ちゃんとまとめられていると思います。どのようにしてこの結論に至ったかを書いたほうが良いと思います。

住民の理解を得ながら推進するとなっていますが、全員の意見が一致することは、ありえないので、ある程度の方向でまとめていくことが必要だと思います。

この結論を示すのであれば、説得するものを書き込む必要があると思います。

議 長

基本的に心と体が一番成長する中学生の教育をどうするのか、その教育を行うのにどの規模が良いのかを話合う場です。子供たちの教育をどうするのかを考えていきましょう。

委員意見

学校の規模としては1校にして、ほとんどの部活動ができるような環境が良いとは思いますが。

前回、前々回と統廃合が目的の会合ではないとおっしゃっていました。私は単純に

考えると統廃合した場合としなかった場合で考えるのが良いと思っています。

議 長

一番は、子供の教育をどうするのかということで、より良い教育を受けるためには、1校が良いのか、2校が良いのかという話です。適正規模になれば、専門の先生も配置されます。専門の先生が一人なのか、二人いるのかで教育の方針も変わってきますし、相談もしやすいと思います。相談しながらやっていくことで、その教科のレベルも上がっていくと思います。ただ、私たちが統廃合を決める訳ではありません。このように考えましたという答申を上げて、あとは町長とかが判断していきます。

委員意見

学校規模の適正化について、話合ってきました。その中で、学習面、部活動、学校運営上で1校のほうが適正規模ではないかということと、学校教育法の中でも12学級から18学級が適正であることが裏付けになったと思います。地域づくりの点については、これから地域コミュニティとの連携も大事になってくるので、気になる点ではあります。

P T A役員で話す機会がありましたので、聞いてみたのですが、小学生を持つ保護者は、何人かですが、統廃合すべきだとか、やむを得ないという方が結構いました。

子供たちからしたら、一定の学校規模で競争し、いろんな人がいる中で励まし合ったりするほうが良いのではないかという意見が出ました。

この答申(案)の結論の書き方は、強引すぎると思います。初めに統廃合ありきではないという話合いの中で、いろいろな知識とか社会とか、地域づくりとかもあるのですが、それぞれの内容で意見が分かれていました。この審議会で、全てを見るのではなくて、それぞれ部会を持って、教育を考えるのであれば、私も環境が整った、子供たちもたくさんいて、先生もいてのほうが絶対的に良いです。教育面だけを考えたらそうなります。地域づくり的には、子供たちの総意はとか、学校を中心として動く地域は、どういうふうになるのか、学校の運営の部分で先生方もたくさんいて良いけれど、リスクは無いのかななどをそれぞれのテーマで考えていかないと、今は、教育の面からしかアプローチしていないように思えます。メリットがあればデメリットもあります。統廃合すべきと表現するのは、何か勿体無い気もするし、強引だなと感じます。もう少し視点を変えて、メンバーが変われば、もしかすると、すべきでないという結論かも知れない。今後の進め方として、なぜ1校にするのかを考えていくと、教育という面から考えると、そうかも知れない。子供たちに一番何が良いことなのか考えることと、あと社会的な部分とか、保護者を考えた場合とか、それぞれ何かしらの課題で、もう少し審議したほうが良いと思います。

今日3回目で、この結論が出ていることにびっくりしています。結構、駆け足で結論を出されていますけど、何か、急ぐ理由があるのでしょうか。

議 長

ないです。全くないです。

委員意見

あまり急がなくて良いのではないかと思います。結論の部分ですが、「すべきと考える」という部分は、この場の全体的な意見ではない気がします。「1校が望ましいと考える」、「そういう意見が多く出ました」というようにまとめたほうが、「すべきと考える」とすると、この会で1校にしなさいというように言っている感じがします。そんなまとめになっているので、違和感があります。

一番考えなければいけないことは、子供にとって何が一番大事なことなのかということです。親のためではありません。そこを考えてあげないと意味がないと思います。地域との関係を取りざたされることは無いと思います。地域は地域で考えるでしょう。

議 長

事務局としては、どのように考えていますか。

教育課長

回数も別に何回でも構いませんし、この答申は、あくまでも意見を出していただくために、粗削りなものを出しております。この形にもこだわらなくて良いです。いろんな答申の形があります。あくまで今回のものは参考ですので、引続き審議のほうをよろしくお願いします。

委員意見

いろんな意見の中で、建物のこととか耐震のこととか含めたら、子供を中心に考え、通いやすい場所にあること、その周りに親とか地域とか家族がある学校のほうが、もちろん良いと思います。そして、川南町に、また住みたい、地域に戻りたいというような考えの地域づくりもあって良いと思います。そんな中で、統廃合を考えると、教育の面が一番で、やはり学力が上がらないと、自分が行きたいところへ行けない。やはり学力を高くするためには、専門の先生方から教えていただきたいと思います。

教育とは何かと考えると、やはり子供が生きる力を育む、教える場所だと思えます。生きる力というのは学力だけの問題、知識的なものを学ぶだけでなく、それをどう生かしていくかということが必要だと思えます。それを教えるのは先生かも知れませんが、そういうものを切磋琢磨する場は子供がたくさんいないとなかなかできません。そういうことを考えていくと、規模がどの程度なら適しているというのを文部科学省が出しています。単純に考えると1学級と2学級で教育した場合、かなり考え方が違ってくると思います。その中で、切磋琢磨して子供たちは生きる力を学んでいくと思えます。生きる力を養うためには、子供たちをどう育てていくのか考えるのが、この場だと思えます。

保育園のお母さんたちに話しを聞く機会がありました。今から学校に通わせるお母さん達からしてみたら早く統廃合してほしい。自分たちの子供が学校に通うとき

には、ちゃんと決まっていほしい。それが望みと言っていました。自分たちの子供が通う時には、ちゃんと決まっていて、安心して通わせたい。バスで行くのであれば、バスで行く。それならそれで早く決めてほしいと言っていました。若い年代、そういう世代のお母さんたちは、そういう考えになっていることを感じました。

学校現場だけで考えたら統廃合したほうが良いと思います。すぐすぐに統廃合する必要はないと思いますが、いずれ100人を切るようになったら、せめて2学級、3学級あるほうが子供たちの意見とか、職員1人に対して子供が10人ぐらいだと良いと思います。現在の出生数を考えると、遅くとも10年後ぐらいには統廃合が良いと感じています。先ほど言われていたとおり、早ければ早いほど良いとは思っています。問題は、学校がどこにできるかということになると思います。

子供の教育、知識とかそういった面でみたら、少ない人数で行う良さもあるとは思いますが、先生の配置のバランスとかを考えると、後々少なくなっていくことは分かっていますので、そこは統廃合する方向にならざるを得ないと思います。保育園の保護者さんの話ではありませんが、早く確定してその方向で動きを始めたほうが良いのではないかという気はします。ただ、部活動については思うところがありまして、統廃合しても状況はあまり変わらないと思います。少年団活動にかかわっていますが、実際、学校には100人以上の生徒がいると思いますが、その中で、部活に入る生徒が少ないという現状があるので、部活動数が少ないことになっている気がしています。もしかしたら、家庭の事情で入れないのかも知れませんが、このことが統廃合するから改善するのかと疑問がありますし、統廃合したから部活動の幅が広がるとは思えません。今のうちから部員の少ない部活は、一緒に練習できるような状況を作るとは、考え方として同じことだと思います。統廃合したからと言って、今の子どもたちが部活を始めるかと考えると、実際は動かないような気がして心配しています。

中学校で部活動が無くて大会に参加しているのは、剣道、水泳、陸上、駅伝です。生徒数が400から500人いたら、部活動数はかなりの数になると思います。

学校規模適正化を考えると、10年後には国光原中学校は、1学年1クラスの時代を迎えます。子供たちの学力保証の面でも複数の教員から指導を受けたり、少人数指導を受けたりとかができるので、そのためには、ある程度の規模がないといけないこととなります。そういうことを総合的に考えると、もう統合の時期にきていると思います。

何年か後に統廃合は、大賛成です。事務局にお尋ねしたいのですが、10年後の入学生は何人の予想ですか。

教育課長

10年後の中学1年生の数ですが、国光原中学校は32人です。

委員意見

この状況であれば、統合せざるを得ないと思います。学力の面、部活動の面でも統合したほうが良いと思います。そうした場合、一般の親御さんたちは、場所が気

になると思います。

これだけの意見があって、1校にすべき、テーマとして教育環境を考えたらこうですというコメントにする。自治会のほうで話をすると、なかには、具体的にどう考えているのか、何か示してほしいとか言われます。教育環境で考えるのなら統廃合が良い、では、こういった面では、そうじゃない。メリット、デメリットを出して、デメリットに対して、スクールバスが出ますとか、助成がありますとか、こういう対応をしますとか示せると、皆さんが賛同するようになると思います。教育環境から考えると統廃合が望ましいとか、ではないかという意見でまとまった。今後は具体案、デメリット、リスクに対する具体案を提案し、住民との理解を進めていくといったほうが、まだ良いような感じがします。そこを分かりやすく経緯を説明するためにも、この課題ではこうだという書き方のほうが、答申の形として良いと思います。

現時点で統廃合して適正規模。これから先は、もっと少なくなっていく。今までの資料を見ると、12から18学級が適正規模と基準が示されています。今、統合すると、だいたい適正規模になり、来年、再来年になるともっと少なくなってしまう。統合するなら、なるべく早くしたほうが、子供たちのために良いと感じます。

教育長

説明をさせていただきます。学級の定数は、40人です。41人で2クラス、81人で3クラスとなります。4クラスになるためには、121人が必要となります。今、統廃合しても4クラスにはなりません。3クラスです。9クラスに特別支援学級が入って、11か12クラスになると思います。学級数によって教員の定数が決まっていますので、何人なのかは決まっています。あとは校長先生が時数を計算したら、国語が何人必要、数学は何人必要ということで教科構成を行います。結局、少ないと週1時間しかない授業も出てきます。そういう教科は、臨時免許で対応することになります。しかし、1校になった場合は、加配を付けてもらえます。今、2クラス、3クラスが合併するから5クラスになる訳ではありません。学年の人数によって、学級数が変わってきます。全体の学級数によって、配置も教員数も決まります。

委員意見

質問なのですが、生徒数が減少していくのはもちろんなのですが、特別支援学級の需要は増えているのですか。特別支援学級を利用する人数によってクラスが増えるのですか。

特別支援学級が4クラスあります。23名在籍しております。特別支援学級は、1クラス8名が定数ですので、9名いた場合は2クラスになります。学校の規模ではなく、何名在籍するかで特別支援学級は決まっています。

7名在籍しております。1名足りておりませんが、あと2名入ると2学級になり、教員も増えます。定数がありますので、1増えたり、無くなったら2減ったりしま

す。教員が減ったりします。

特別支援学級の生徒たちも全生徒数に含まれて、クラス分けがあるのですか。

教育長

81名いるとします。そうすると3クラスとなりますが、ここから3名、特別支援学級に入るとなると、78名となりますので2クラスとなります。

委員意見

保護者の方たちの不安とか意見を少しずつでも無くす方向で考えていかないといけないと思います。

議 長

この場の話をもっと早く上げて、住民説明会をどうするのか、具体的なことに入っていくことが良い気がします。ほかに何かありますか。

教育課長

今日、お話いただいたものを盛り込んだ案を、次回、示させていただきます。

議 長

すべきという表現ではなく、望ましいというぐらいの表現が良いように思います。

教育長

答申案の中で、少数学級の表現がありますが、国光原中学校でも4、5名の少数学級にはなりません。ですので、この表現も変えたほうが良いと思います。

議 長

事務局に答申案をまとめてもらい、皆さんで協議した上で、簡単な文言訂正等で良い場合は、私と事務局で調製して提出したいと思います

事務局

3月11日の月曜日はどうですか。

《 意 見 な し 》

事務局

では、次回は3月11日、18時から開催いたします。また、通知を出しますので、よろしくお願いいたします。それでは、以上を持ちまして、第3回の学校規模適正化審議会を終了いたします。ありがとうございました。

<午後7時10分終了>